

■特集 浦添の教育

自ら考え、学ぶ力を育む



「子どもたちが自主的に
考える能力」を育む

写真 真は、宮城小学校で行われた公開授業の風景。算数の授業で、図形の面積を求める問題でした。

しかし、正方形や長方形のような解りやすい図形ではなく、長方形が二つくっついたようなL字型の六角形。図形の応用問題で子どもたちは少し困惑した表情でした。先生はすぐに解き方を教えるのではなく、子どもたちに「難しい理由」を問いかけ、子どもたちが自力で答えにたどり着くよう思案させます。電子黒板が活用され、自分で考えた解き方以外の方法もスクリーンに映し出されました。様々な解き方があることに子どもたちは「このような解き方もあるんだ」と真剣な表情で授業に取り組んでいました。

小さなことも先生が問いかけ、子どもたちは積極的に手を挙げ元気よく答えます。とても丁寧で活発な授業風景に、周りの先生たちも興味津々でした。

子ども一人一人が成長する過程で教育に求められているのは主体的・創造的に考え、基礎的・

基本的なことを身につけてもらい、自ら学び自ら考え行動するということ。これは、学校現場だけではなく家庭や地域と連携した取り組みが必要です。

今月は、浦添市が取り組む教育と家庭における教育についてご紹介します。